

ENOKI

えのき



地区内小学校対抗 ドッジボール大会

令和元年11月24日(日)、鶴巻小学校にて「地区内小学校対抗ドッジボール大会」が行われました。大会には早稲田・鶴巻・江戸川・牛込仲之小学校の低学年8チーム、高学年4チームの総勢147名の選手が出場しました。当日は雨天だったので、体育館で全

学年の全試合を行いました。試合数が少なかったため、各チームとも試合に臨む意気込みは強く、全力をかけて試合に臨んでいたようで、多くの熱戦が繰り広げられました。

低学年が高学年の試合を見られる機会でもありました。硬いボールを扱う高学年の試合は、ボールを投げるスピードも速く、迫力があります。三年生の選手は、来年は自分がこのコートで戦うことを想像し、圧倒されているようでした。

*試合結果は以下のとおりです

●低学年の部

優勝

早稲田小学校Bチーム

第二位

江戸川小学校Bチーム

第三位

早稲田小学校Cチーム

●高学年の部

優勝

江戸川小学校Bチーム

第二位

江戸川小学校Aチーム

第三位

牛込仲之小学校チーム

主催 早稲田地区青少年育成委員会
主 榎町特別出張所 スポーツ推進委員

原町三丁目は明治11年11月旧制定の15区の1つ牛込区が昭和22年3月15日に淀橋区、四谷区と合併して出来た新宿区のほぼ中央部の一角に位置しております。

大正2年から三丁目に住られた先輩(故人)のお話によれば、昭和の初期頃から東京のあちこちに町会が生まれました。原町三丁目は、わけあって原三衛生会を作り、町会と同様の仕事を担当していました。

昭和15年10月戦時体制となり、大政翼賛会(国民統制組織)が全国に隣組を組織し、上からの命令で原町三丁目町会がつくられた。

住民の転入、転出、移動、統制物資の配給等を行っておりました。

昭和20年8月15日終戦となり進駐軍の軍政下となり、昭和22年5月3日、GHQの政令で戦前の原町三丁目町会は解散させられました。

原町三丁目を横切る大久保通りには、大正22年新宿角筈から万世橋迄(後、水天宮迄延長)路面電車の都電が十三系統の番号を付けて運行され、その後交通渋滞のため昭和45年3月廃止されました。終戦当時、都電通りの南側は強制疎開で道路にそって空地になつており、北側は昭和20年5月25日の空襲で僅かに焼け残った家が建ち並んでいただけでした。幸いにも宝祿稻荷神社は戦災を免れ、町会は解散させられたので町内有志が原町三丁目奉賛会を設立し、神社の

護持・管理をすることになりました。又、区警察署・消防署等の連絡依頼事項等も(町会組織の様な事)を行っておりました。

戦後月日が過ぎ世の中も漸く落ち着きを取り戻し、住民が増え、商店が都電通りに軒を並べる様になり、向こう三軒両隣と先ず商店主有志が集まり、昭和33年3月「原町三丁目共栄会」を設立しました。

此の頃から行政機関も町会・自治会の復活を望む様になり、他の町でも町会・自治会の再建が始まりました。

原町三丁目地域内の住民も住民全体の親睦団体の創建を望む声が高まり、有志の方々の大変なご努力と住民の大なる協賛で、昭和34年4月「原町三丁目町会」が創立されました。以来60年、会員相互の親睦を深め会員の繁栄と福祉の増進を推進して参りました。

現在町内には宝祿神社を護持・管理し祭礼等を司さざる祭典部「宝祿稻荷神社護持会」があります。

又、商業的結びつきで20数基の街路灯を設置(昭和38年設置、昭和57年改)運営管理しているのが現在の「若原共栄会」(昭和59年名称変更)であります。

さらに、60歳以上の高齢者の親睦互助を主とする「水の原クラブ」(昭和45年8月創立)と三団体あります。

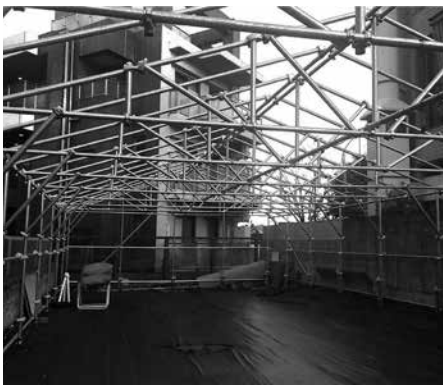
都庁が新宿区への移転(平成8年)と都営地下鉄12号線着工(平成3年)平成12年全

線開通しました。

現在町会行事の中心は宝祿稻荷神社で、約50坪の場所にパイプで骨組みを組み、常設しています。屋根にシートをかければ大きなテントとなり、雨天でも行事が実行でき、大震災の時も頼りになる存在となります。

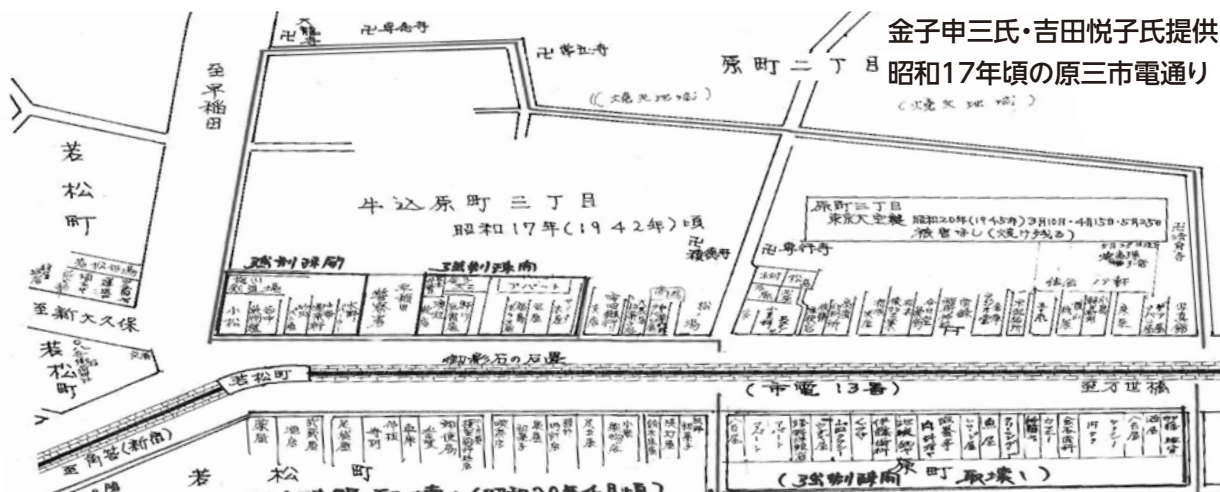
さらに、防災に関しては、前回の「えのき71号」に原町三丁目の野村会長に紹介していただいた「成城学校避難所運営管理協議会」において柳町・原一の一部・原二・原三・成城学校長・教頭各先生・生徒会長・順天堂大学の先生・消防・警察署として出張所長・主査・危機管理課等多くの方に集まっていた、ほぼ毎月協議会を開き、いざという時の検討をしています。

昭和34年4月「原町三丁目町会」発足以来、町会長は私で七代目となります。小さな町ではありますが、それなりの歴史があるものだと思います。



「原三ドーム」宝祿稻荷神社の裏に、鉄パイプで組み、常設しています。使用時は屋根にシートを張ります。

金子申三氏・吉田悦子氏提供
昭和17年頃の原三市電通り



令和元年度 コミュニティスポーツ中央大会 榎地区の各チームが健闘!!

12月8日(日)、新宿区内の各地区でコミュニティスポーツ大会(ビーチボールバレー・ユニカール・輪投げの種目別)を勝ち抜いたチームが堂に会し、試合交流するコミュニティスポーツ中央大会が新宿コスミックスポーツセンターで開催されました。各地区を勝ち抜いたハイレベルの地区代表同士が競い合った結果、大健闘し、榎地区のチームはユニカールの部で山吹なかよし会Cチームが2位、早稲田南町チームが3位に見事入賞しました!!



山吹なかよし会C

早稲田南町チーム



災害について「伴に」考える研究会(第二三回定例会) 地域の絆が災害から命を守る

令和元年二月九日(月)一七時より成城学校(新宿区指定避難所)において、「災害について「伴に」考える研究会」が、順天堂大学・成城学校避難所運営管理協議会・成城避難所女子会の共催で開催された。榎町特別出張所長(小原良太氏)による講演の後、参加者全員による避難所シミュレーション・地域みんなで考える避難所マップを行った。参加者五五名を八つのグループに分けグループ・ファシリテーター(会議の司会進行役)の下、地域住民の考えを知るための避難者受入れに関する意見交換のあとに、避難所のマップ作成に取り組んだ。少人数のグループ会議により、普段は発言する機会のない方からも様々な意見が出て、又茶菓等もありリラックスした中でも真剣な討論となった。

最後に各グループより成果の発表があり、次回以降の運営管理会議に活かすこととなった。今回の研究会



「希望者は全員受け入れましょう。人数制限もあるので優先順位と受付での判断が必要。障害者は家族一緒の場所がよいのでは。」



「感染症罹患の方はどうしましょうか。ペットの場所はやはり屋外でしょうか。」

は、地域の防災会議の役職者と一般の地域住民の情報共有の機会となり、参加者全員でお隣さんとの絆が災害から命を守る為大切なことを学んだ。

成城学校避難所運営管理協議会には様々な分科会もあり、なかでも協議会と連携関係にある女子会の活動は活発で、女子会での意見が避難訓練に反映、避難カルタの作成等につながった。

最後に、新年最初の本号で、令和元年度の「東京都女性活躍推進大賞」に応募して大賞受賞が決定したことをご報告したい。新宿区榎町特別出張所長推薦の下で受賞対象団体名は協議会(代表世話人土屋勝氏)並びに女子会(会長 里吉邦子氏)の連名で応募した、順天堂大学坪内暁子氏等研究者との連携を進めている防災の取り組みに対して、大賞(地域部門)を受賞した。

早稲田小学校 「学芸会」

早稲田小学校・幼稚園では、11月15日(金)、16日(土)に学芸会がありました。実は10月5日に運動会があったばかりで、ほんの1か月ちよつと前には「赤組頑張りー白組負けるなー」と叫んでいました。その余韻に浸る間もなく気持ちを切り替えて準備するハードスケジュールで、先生も子どもも、見守り手伝う保護者も、目の回るような毎日だったことは想像に難くありません。それでも、子どもたちは笑顔と楽しむ心を忘れず、発表に向け努力を重ねていきました。

そして、迎えた本番。それは本当に立派な姿で、各学年全員がひとつになっているのが分かりました。微笑ましい幼稚園児から子どもでもあることを忘れさせるくらい物語に惹きこんでくる6年生まで、それぞれの演技力を存分に発揮し、観衆を魅せてくれました。スポットライトに照らされた子どもたちの表情は、観た人の心にもいつまでも残ることでしょう。

我が校は今、難しい問題に直面しています。児童数が年を経るごとに増えているのです。もちろん仲間が増えることは嬉しいのですが、教室数や校庭の広さなど、ハード面は変えられません。運動会もそうでしたが、こうした行事の時の観覧場所を確保することが難しくなっています。内容の充実を確保しながら、安全に配慮した運営が求められます。

今まで学芸会は3年に1回開かれています。つまり、4年生以上にとってはこれが最後の学芸会でした。この貴重な機会が、これからも学校、子どもたち、地域、保護者の誰もが幸せになれる場であることを願います。



3年生「夢どろぼうウンパッパ」



2年生「わらうかどにはふくきたる」



1年生「おしゃべりなたまごやき」



幼稚園「もりのたんけん」



6年生「ライオンキング」



5年生「魔法をすてたマジョリン」



4年生「7つの海の船乗りラシード」



江戸川小学校 図書ボランティア・ 学芸会の装飾作り

私たち図書ボランティアは、主に本の読み聞かせ、整理、保護カバー付け、森をイメージした壁画作り等のお手伝いをさせて頂いております。今回は学芸会に何か子どもと一緒に出来る事はないかと装飾のお手伝いをする事に致しました。どんぐりのリースの折り方を友達に教えてあげたり、秋の装飾を作る際には「風物は何かな」と本で調べたり、また、立体的に作ったりと子供たちの取り組み方に感心させられました。子供主体で体育館の周囲を飾り付け以外にも、校舎内の清掃や舞台の大道具・小道具の準備まで準備していて、大忙しです。でも、みんな張り切っていて、どんな準備を進めていく姿に頼もしさを感じました。作業を終えると子供たちから「楽しかった!」という声が上がりました。私たちボランティアにも「ありがとうございました。」と声を掛けてくれました。

さて、当日1年生から6年生までの取り組み方がまさしく「ワンチーム」で、笑いあり、涙ありの演技に感激しました。たくさん感動をもらい、元気をもらいました。

劇団員の火人形劇 ♪ ブレーメンの音楽隊 ♪

12月14日(土)、榎町地域センターにおいて人形劇鑑賞会を催しました。百名以上の親子が集まり、人形劇を楽しみました。

はじめは、猫のミイちゃんと劇団のおねえさんがお弁当を作っていく「ミイちゃんのわくわく弁当」。みんなでおにぎりや玉子やき、にんじんの唄を歌っていくうちに、おもしろなお弁当ができました。

そしてロバ、イヌ、ネコ、ニワトリが登場する「ブレーメンの音楽隊」。音楽の好きな動物たちはブーメランに行く途中、森の中の一軒の家で泥棒に出会ってしまいます。泥棒をおどかすために、ロバの上にイヌ、その上にネコ、ニワトリが乗って大きなお化けに変身。皆で力を合わせ、みごとに泥棒を退散させました。観ている子どもたちも動物たちの活躍を拍手で応援しました。

人形劇終了後は、出演した動物たちと子どもたちが一人ひとり、お別れの握手をしました。来年も、新作の人形劇を上演します。お楽しみに！



主催 早稲田地区青少年育成委員会

牛込仲之小学校

「学校公開・地域防災・うしなな119」

東日本大震災から8年余りが過ぎました。その間にも、熊本地震など大きな震災が続き、首都直下地震がいつ発生してもおかしくない状況です。そのため、本校では児童の自助・共助を育てる取組を進めています。地域防災訓練への参加促進がその一つでしたが、一昨年度の参加は1名、昨年度うしなな119(PTA防災行事)とのタイアップにより、22名の参加という結果でした。

そこで、昨年度末から、各町会や地域協働学校運営協議会、PTA、榎町特別出張所などの関係機関と連携しながら、「学校公開」と「地域防災訓練」と「うしなな119」を同時開催する計画を進めてきました。

新宿区の他の小学校で実践している取組を参考にし、これまでの地域防災訓練のよいところを大切にしながら、全校児童の防災体験を組み込んでいきました。防災体験の一部をうしなな119と

して、PTAの皆様にゆだねる形での連携も実現しました。

10月19日(土)、1〜5年生は、防災カルタ、DVD学習、新聞紙を活用した防災グッズ作り、応急救護AED体験などを行いました。6年生は、保護者、地域の皆様と共に避難所開設訓練に参加しました。

地域関係者の皆様、他、全校児童と保護者の皆様が加わることで、500人を超える人々が一堂に会する取組となりました。児童の自助・共助を育てることに加え、近隣にお住まいの皆様が、つながらり、有事の際には互いに声をかけ合える関係、つくりの一助になったと思います。事後のアンケートには、子どもたちの真剣に学んでいる姿や多くの保護者の皆様の参加が頼もしいとお声もありました。様々な課題も見えたので、修正を加えながらより有効な取組に発展させていきたいと思えます。



わたしたちの町をきれいに！

榎クリーンデー

皆で私たちの住む町を掃除しましょう。
榎町地区全域で二斉清掃を行います。

ほうきやちりとり、ゴミ袋は各自でご用意ください。



●日時 3月1日(日)
午前9時～10時

*集合場所等の詳細は
各町会の掲示板にてお知らせします

主催 早稲田地区青少年育成委員会
共催 榎町地区町会連合会

日本の伝統文化を楽しむ 日本の遊びピアノニカ演奏

ただじゅんさんが獅子舞や楽しい遊びを、
のだゆきさんがピアノニカの音楽パフォーマンスを披露してくれます。

コマまわしや紙風船の昔あそびも楽しんでください。ご家族、お友だちもさそって皆で遊ぼう！

●日時 3月8日(日)
午後1時開場

1時30分開演 3時頃終演



●会場 榎町地域センター4階ホール

*参加は無料です。

どなたでも参加できます

*詳細については町会の掲示板のポスターをご覧ください

主催 早稲田地区青少年育成委員会

昔あそび

もちもちの餅



牛込第二中学校の生徒たちが「昔あそび・もちもちの会」を催します。

突きたてのお餅を食べて、凧揚げやコマまわし、羽つきなどの昔あそびを楽しんでください。

また、本格的な「和菓子作り」にも挑戦してみましよう。

●日時 3月14日(土)

午前10時～午後1時

●会場 牛込第二中学校

主催 早稲田地区青少年育成委員会
牛込第二中学校

協力 榎町子ども家庭支援センター

スポーツ交流

ユニカールと輪なげ

●日時

①2月9日(日)

②2月16日(日)

③3月1日(日)

④3月15日(日)

①～④10時～12時



●会場 榎町地域センター
4階多目的ホール

*事前の申込みは必要ありません

当日、会場にて参加を受け付けます

問合せ 黒川 孔晴

TEL03(3268)1777

主催 わせだスポーツ・文化協議会

高齢者クラブでいきいき 元気に暮らそう

榎地区の高齢者クラブの最近の活動状況をお知らせします

① 令和元年度 区高連 グラウンドゴルフ大会

令和元年10月10日(木)戸山多目的運動広場において開催され、新宿区の42チームが参加しました。

榎地区からの出場は6チームで、山吹会が(132点で第4位に、早稲田永楽会が(136点で8位にそれぞれ上位に入賞しました。おめでとうございます。

他の参加クラブは次のとおりです。(成績順)

・原一あゆみ会・柳町すみれ会・薬王寺長寿会・原一わらく会。以上

(資料提供:新宿区高齢者クラブ連合会)

「老人クラブ(高齢者クラブ)」

→100万人会員増強運動展開中

老人クラブの魅力

「会員になると、いきいきとした高齢期の生活(シニアライフ)が実現できます。」

- ① 地域に新しい仲間ができます。
 - ② 知識や経験を生かし、新しい能力の発揮ができます。
 - ③ 健康の保持・増進になります。
 - ④ 社会活動への参画と貢献ができます。
 - ⑤ 心の安らぎ、充実感が得られます。
- あなたの参加で楽しいクラブを —

(公益社団法人 東京都老人クラブ連合会 広報誌「都老連」より)

「各クラブでは随時、新入会員を募集しています。」

新年度から活動される方は、3月中に入会手続きをお願いいたします。

令和元年度「夏目漱石」暗唱コンクール

今年で第6回目となる、榎町特別出張所地区町会連合会

(会長：中村廣子)主催「夏目漱石」暗唱コンクールが実施され、10月27日の地域センターまつりの一環として表彰式を行いました。(協賛：東京新宿東ライオンズクラブ、新宿天神郵便局)

コンクールは管内の小学校(江戸川小、早稲田小、鶴巻小及び牛込仲之小)の5年生と6年生の総勢369名が参加し、5年生は「坊っちゃん」、6年生は「吾輩は猫である」のそれぞれ冒頭部分から約800文字の文章を暗記して読み上げ、その正確性や聞き取りやすさなど暗唱の出来栄を競いあいました。

各学校の予選を勝ち抜いて集った参加児童の暗唱は大変素晴らしい内容で、本審査会は非常に高いレベルでの審査となりました。

また、今年には四谷区民ホールで開催された「漱石山房記念2周年記念イベント」で、最優秀賞者が暗唱を披露し、多くの人々の賞賛を受けました。

受賞者は次の通りです。(敬称略)



6年生 博多さん



5年生 片山さん

6年生	学校名	氏名
最優秀賞	早稲田小	博多 柚鶴
優秀賞	早稲田小	酒井 洸輔
//	早稲田小	鎌田 紗智乃
奨励賞	江戸川小	高澤 あおい
//	江戸川小	横田 涼花
//	早稲田小	高田 陽太
//	早稲田小	新山 結唯
//	早稲田小	久次米 みり
//	鶴巻小	相生 悠吾
//	鶴巻小	福田 咲和
//	牛込仲之小	菊池 開
//	牛込仲之小	石居 明莉
//	牛込仲之小	コルソーバ 圭吾
//	牛込仲之小	柏山 京

5年生	学校名	氏名
最優秀賞	早稲田小	片山 美迦
優秀賞	早稲田小	三浦 ルイス
//	早稲田小	鈴木 裕亮
//	牛込仲之小	喜多 凜
奨励賞	江戸川小	奥田 彩子
//	江戸川小	鈴木 結女
//	早稲田小	佐藤 由爽
//	早稲田小	西 音羽
//	早稲田小	中川 彩希
//	鶴巻小	早乙女 さち
//	鶴巻小	名女川 悠太
//	牛込仲之小	鹿島 夢斗
//	牛込仲之小	久米 柚花
//	牛込仲之小	中河 颯太

榎町地域センターからのお知らせ

●新春カラオケ大会

日時 令和2年2月2日(日)
午前10時～午後4時
場所 榎町地域センター
4階 多目的ホール

*出演申込は終了しました。

●榎町地域センターミニ音楽祭

日時 令和2年2月22日(土)
午後1時開演(入場無料)
会場 榎町地域センター
4階 多目的ホール

*登録団体の皆様の日頃の成果をお聴きください。

●意見交換会のお知らせ

例年11月に開催していた登録団体の皆様との「意見交換会」を3月の一斉受付終了後に開催します。日頃感じていることをお聞かせいただける幸いです。

日時 令和2年3月7日(土)
一斉受付終了後(10時頃～)
会場 榎町地域センター
3階 工芸美術室

えのき文芸



蒼天の富士の冠雪みはるかす

天野 武

身を沈めあふれしめたる柚子湯かな

江川 大二郎

ふきたまる落葉踏みしめ里の径

大石 代志恵

朝練の気合にゆれる寒椿

大籠 紀子

母の齢越えて顔似し初鏡

加藤 千代子

母の齢すんなり越えしなづながらゆ

小林 吉一

初日差し金と輝やく鴨の水尾

後藤 知朝子

痛い腰小春日和に蒲団干し

滝口 泉

年酒汲む女ばかりの四人かな

比田井 周子

故郷の樹氷の上をドローン飛ぶ

山口 敏子

川柳



悴む手孫にも遠慮そつと出し

強がりも薄れてゆきて一人言

大籠 紀子

ねずみ年ちよろちよろ動く年になれ

七度目か次の子年を夢に見る

菅野あきら

生涯の趣味に溢れるエネルギー

今年こそ福を増やそうネズミ算

小山 一潮

振り返えりや無くて過ごしたレジ袋

銭湯も時の流れで湯冷め距離

田実 孜

酔生夢死銀河の塵に並びます

青木 久彌

今日もまた良くぞ歩けた長い道

奥瀬 イチ

人と酒のんでのまれて千鳥足

滝口 泉

短歌



戦前の流行歌の百曲位

全部歌えるゾ涙と共に

青木 久彌

角巻きや行李の底に半世紀

手縫で仕上げ孫のコートに

大籠 紀子

人の世と川の流れは同じこと

二度とあとには戻れぬものよ

奥瀬 イチ

雨あとの夕闇迫る路地裏に

ふわりと白き合歓の花咲く

加藤千代子

枯落葉踏みつつ歩みささやかな

音を聞きつつ秋をあじわう

金成 光祥

晴天を祈る社の境内は

てるてる坊主下駄の絵馬

滝口 泉

神田川白鷺一羽止りおり

除夜の鐘響き祈るがごとし

山口 敏子



広報部からのお知らせ

広報誌「えのき」に関するご意見やお問い合わせ、情報提供など、榎町地域センター事務局までお寄せ下さい。

「えのき」文芸に掲載の作品を募集しています。次号の俳句のお題は「冬」、川柳は自由吟です。投稿はハガキかファックスに、俳句川柳の別を明記の上、3月10日(火)までに榎町地域センター事務局迄お送りください。

〒162-0042
新宿区早稲田町85
TEL(3202)8585
FAX(3202)2478

榎地区協議会委員募集

榎地区協議会は住民の皆様
の意見を集約し、また行政の方
針を検討し、地域の考えを区政
に反映していく窓口として、が
んばっていきます。

●お問合せ・ご応募

榎地区協議会担当(榎町特
別出張所内)まで
〒162-0042
新宿区早稲田町85
榎町特別出張所内
TEL(3202)2461
FAX(3202)2476